

# Omake (no) いゝほ。

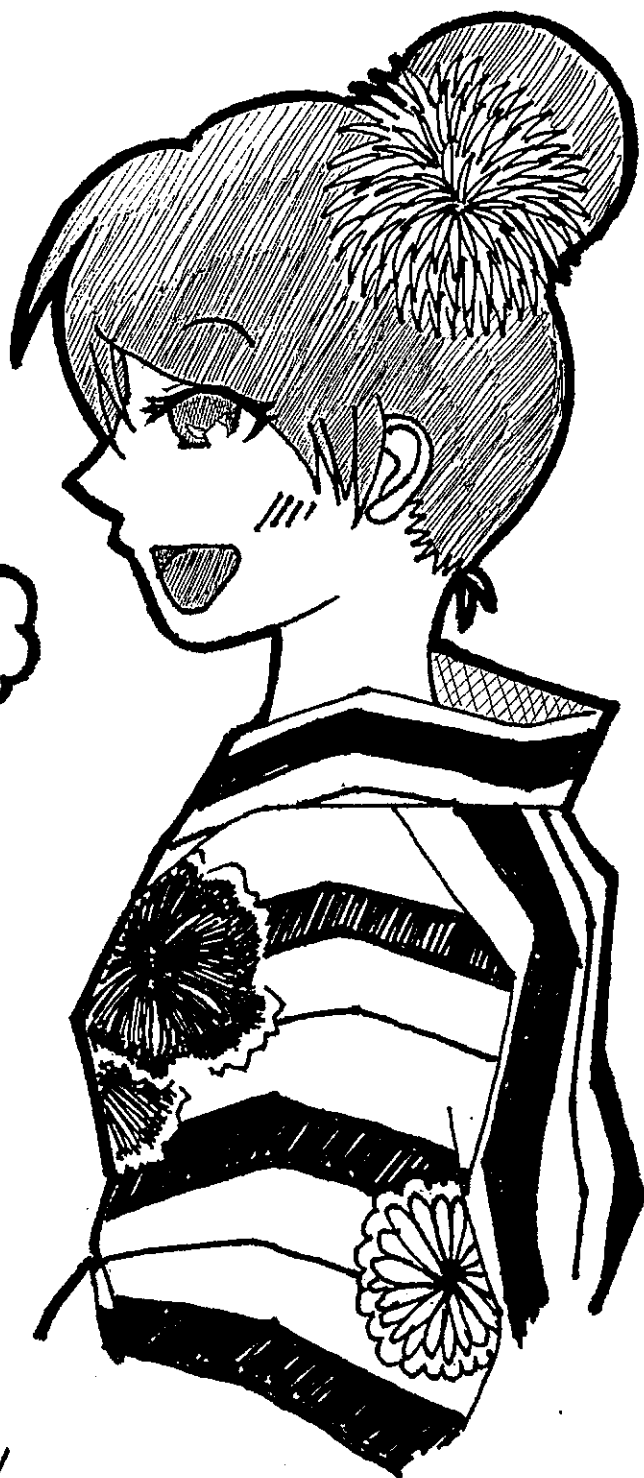
No. 95

P.2 特集「文化祭」

P.7 さんまくのほんぼこ

P.9 お知らせ

P.10 編集後記



# 文★化★祭

参加する人は参加するけど、観行っただけで得れるボーナス目だと思ってる人もいる。

## 校舎の壁大根おろし事件

高校時代の文化祭、校内は奇人変人だらけの百鬼夜行で埋め尽くされる。

コスプレだ。まあコスプレ程度なら割とどの学校でもやる人間はいるのではないだろうか。

別に問題視することもないだろう。だがうちの高校では、3年に一度くらいに起こるプチ事件がある。その名も「校舎の壁大根おろし事件」だ。文字だけでは何のことやら、だろう。

順を追って説明しよう。

うちの高校の校舎の壁は妙にザラザラしている。まるで砂利でつくった荒い紙ヤスリのようだ。校長曰く「他校にない校舎のデザインを取り入れてアピールしようぜ？」その結果生まれたのがヤスリ壁である。どういことだってばよ校長。

ヤスリ壁は時折、誤ってぶつかってしまった生徒にすり傷をつくっていった。これが地味に痛い。生徒からの苦情も勿論出ている。だが改善する意思はない模様。

そして迎える文化祭。コスプレで浮かれる生徒群の中で、ヤスリ壁に目を付けいらん考えを閃くおバカさんが発生するのであった。

そいつらは何を思ったのか、ヤスリ壁で大根をおろし始めたのだ。コスプレ姿で。

勿論校長は大激怒。犯行グループに反省の色無し。かくして（割とどうでもいい）伝説が生まれた。

主犯曰く「これは悪ふざけではなく舞台表現的パフォーマンスです」お前は何を言ってるんだ？ さらにこの愛すべきおバカグループは大根おろしの様子を動画にしていたらしく、新学期の新生歓迎会に歓迎PVと称し、大根おろし動画を全体公開してしまった。

純粋無垢な新生に何てことを。

こうしてこの「校舎の壁大根おろし事件」は毎年生徒の間で語り継がれるのであった。



## 秋闘の時節柄です

とある業界では、春闘とよばれる働き方とお給料についての交渉事がありますが、私の高校であったのは、模擬店を巡る学生と学校当局との団体交渉。

今回はその時のお話。

そもそもは、模擬店を巡って出します、出しませんというのが二転三転し、こじれにこじれたのが真相で、とうとう校長と出したいクラスの学生さんが校長室で団体交渉をすることに。結果は、出店可能にはなりましたが、時間切れ間近でメニュー検討が結構大変なことになっていました。

時期柄、秋の労使交渉の時期に重なったためか、恩師がボソッと「秋闘じゃん、これ」と呟いたのでした。

## 魔祭の話でもしよう

文化祭といえば、身内や家族だけで楽しむ、もしくは入学希望者が雰囲気を確認しに遊びに来る。

…それが普通です。

ですが、世の中にはあるんです。毎回来場者数が10000人を軽く超える文化祭が。私の通っていた高校の文化祭（埼玉の真ん中辺の高校です）がこのパターンでした。

OBの指導もあって建造される巨大な門  
もはや何を求めているのかすらわからない男子のシンクロ  
某科学振興予算により潤沢な資金を得た文化部の展示群  
やたら豊富な模擬店

はて。どうしてこうなった？

私も現役時代には色々作って展示公開しました。（幸い好評でした）

今でもOB会の参加を兼ねて毎年行っています。



世の中にはこんな高校もありますよ。

ちなみに『魔祭』とは、この文化祭の狂乱ぶりを初めて見た妻が、思わず口にした言葉です。

## 校長先生を印刷しよう企画

中高6年間の学園祭、学則が比較的厳しく、そんなに盛り上がらなかった思い出があります。食品販売の数も限られていましたし、クラスごとの出し物、みたいなものもなかったです。小学生のころ（うわ、何年前だよ）は、クラスで毎年新しい出し物を考えて、みんなでおそろいで着るクラスTシャツをデザインし、演劇、合唱などなどの練習に明け暮れる青春！のようなそんな文化祭に参加するのを楽しみにしていました。しかし、わたしの中高には、青春も、男女入れ替えメイド喫茶もなかった…。そもそも女子校だったし。

それでも、毎年の美術部、文芸部の活動は楽しかったですし、あとはなにより思い入れ深かったのは学校側の意向で組まれた学校紹介ブース、通称「〇〇（中高の愛称が入ります、伏せますが）辞典」企画への参加でした。その年から始まった先生主導の企画だったので、これはむしろもう逆に先生を使ってやりたいほうだして暴れてやるぜ！ と幼稚さの抜けない私はノリノリで仕事をしていましたね。学校にない画材や道具を近くのホームセンターまで教員と一緒にお使いにいたり、こんなところあったの?! どのような校内の開かずの間から資料を発掘したり、初代校長の銅像を動かしたり装飾したり（なんたる冒涇）。なかでも一番達成感があったのは、校長先生の等身大パネルをつくったことです！（笑）まさか許可がでるとは思っていなかったですね、校長先生のパネルとツーショットスポット企画。しかも学園祭当日、生徒の間で話題になり、思った以上に盛り上がるというありがたい結果に。みんな校長先生のこと大好きなんだなー、と。私も大好きでした。

規則の厳しい学校に関しては、文化祭を楽しむ方法、いかに教員と良い仲を築けるかにあると思います。まあ教員と仲良くしたからって、甘酸っぱい青春が手に入るわけでは無いのですが。



## 日本武道の真髄を見よ

専門学校時代にうちの科では毎年妙な事をやって学校の笑い者になるのが伝統だった。

正直、某恐竜映画の第三部が公開する前年だったので情報集めに奔走していた私にはそれどころではなかったのだが悲しいかな、科の行事と言うのは皆で準備しなければならない。

うちの科では「カフェ」をやる事になった。なので美術系のうちの学科カフェの内装全てを手作りする事に。

カウンターや壁、小物などを取り揃えいよいよ土俵を作る事になった。

いや、読み間違いではないです。我々が作ったのは土俵。

土俵の土台をトンカントンカン作りながらカフェの内装を整えていく。  
やがて先輩がカフェのコスチュームを見せてくれた。チョンマゲのカツラとマワシを手にしている先輩。

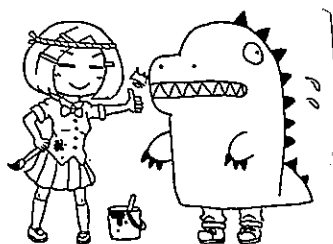
こうして「相撲カフェ」は完成した。文化祭当日、マワシ姿の先輩がバラを口に咥えて現れたのを見て「文化祭中はここに近づくのは止めよう」と心に決めた。

それから数年後、私の遠い後輩が同専門学校に入学して文化祭のパンフレットを見せてもらった所、うちの科の出し物には一言「日本武道の真髄を見よ！」とだけ書かれていた。

## 文化祭の出し物について物申し

文化祭で必ずひとつは遭遇する出し物、飲食物。なぜだかどの文化祭でも一定の割合で、これをやりたがる人がいる。ただし個人的にはおすすしめない。

では何がおすすめか？ それは写真だ！ なぜならガラス細工のように火も使わないし、飲食物のように衛生面のリスクもないからだ。さらに写真のクオリティにだけ集中すればいい。以上の理由から、次の文化祭の出し物は写真展示をおすすしめる。





# さんまくんのほんばこ

## 『ソード・ワールド 2.0 リプレイ 七剣刀クロニクル』

秋田みやび・グループSNE / 富士見書房 / 2012年

みなさん、ゲームは好きですか？

ゲーム好きなあなたに質問です。

TRPGはご存知ですか？

TRPGとは、テーブルトークロールプレイングの略で、紙とペン、サイコロを使って遊ぶゲームの一つです。

簡単に言えば、お芝居やごっこ遊びにゲームのルールが組み込まれた遊びです。

ゲームのまとめ役であるゲームマスター（GM）とプレイヤー（PC）が会話を通して物語を進行していきます。

このゲームの最大の魅力は何と言っても、自分が作ったキャラクターになりきってその時の運次第で変わっていく物語の世界を楽しむことです。

遊んではみたいが突然やれと言われても何をどうすればいいか分からず困るかもしれません。そこで役立つのがリプレイ本！

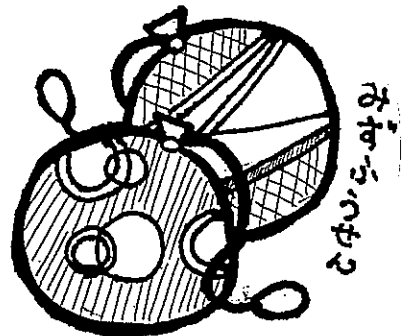
実際にゲームをプレイした記録を読み物にまとめた本です。

このリプレイ本がゲーム全体のイメージをつかむ助けとなるでしょう。

今回紹介するリプレイ本は、ファンタジー世界を舞台とした冒険物語「ソード・ワールド 2.0（以下SW2.0）」！

プレイヤーは冒険者となってファンタジー世界で数多の物語を生み出せるのです。そんなSW2.0で生まれた物語の一つ、「七剣刀クロニクル」！本書に登場するキャラクター達は果たしてどんな物語を繰り広げていくのか！？

TRPGはSW2.0の他にも様々なゲームがあります。ゲームの数だけ物語があります！あなたの好きな物語を是非探してみてください！



## 『雪の階』

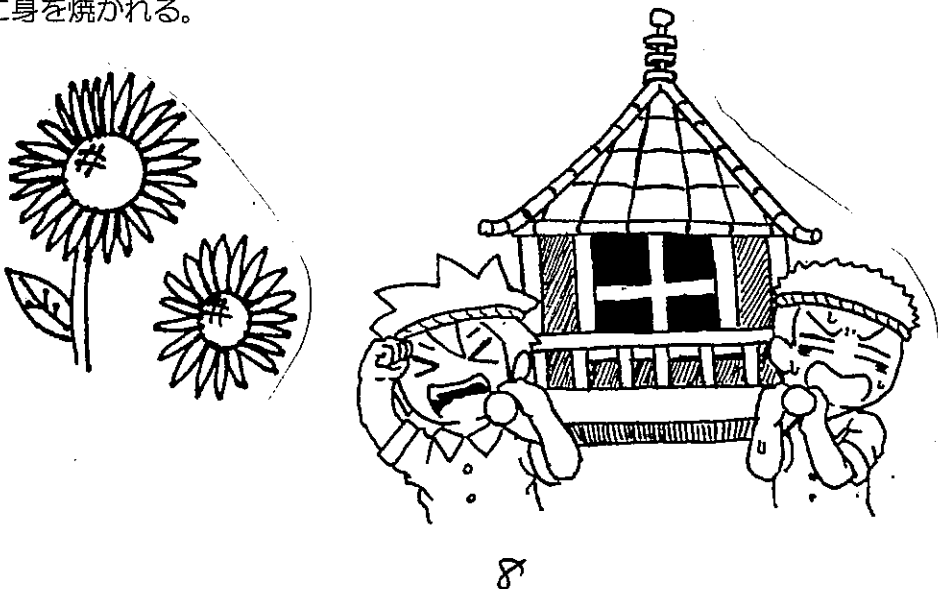
奥泉光／中央公論新社／2018年

二・二六事件前。華族の令嬢笹宮惟佐子は親友宇田川寿子が心中したとの連絡を受ける。何故宇田川は陸軍士官と唐突な死を遂げたのか。自殺なのか、はたまた他殺なのか。彼女は幼いころの「おあいてさん」牧村千代子に捜査の依頼を持ち込む。

来日するドイツ人ピアニスト。宇都宮に消えた寿子の足取り。ドイツに住む叔父の著書と心霊思想。動き始める陸軍の思惑。日本ににじみ始めるナチスの意思。そして「紅玉院」と、惟佐子の中に通う血と記憶。心中事件の真相を追う中で、惟佐子と千代子は、日本の根幹を覆す思想の流れへとたどり着いていく。

本作は歴史小説であり、ミステリ小説であり、恋愛小説である。二・二六事件へむかう時代の陸軍士官たちの若々しさ、自棄へ向かう儚さは肉感をもって耽美さを焚きだす。謎が謎を呼び、しかし丁寧に一つ一つの伏線を回収していく文章は圧巻である。そして令嬢という立場ながら、いや立場ゆえに性に奔放になってゆく惟佐子の間と、そこに潜むすべての真相へ鍵。対して共に真相をおう探偵藤原へ淡くもどかしく恋心を揺らす千代子。二人の対比は日本画のように精緻で美しい。この小説のうまいところは、先述のようなエンターテインメントとんでいながら、ナチスの選民思想や当時の日本の急進的な戦争へ動きや天皇機関説をめぐる思惑、など、戦争当時の思想の形を生々しく、しかしあくまで幻想的フィクションとしてかきあげているところだ。血をめぐる洗脳と終末思想に是非魅入られて欲しい。

「雪の階」というタイトルの意味に気が付いたとき、貴方はきっと、血と世の不条理に身を焼かれる。





今号の編集メンバー：あお、K-ta、ぱんり、あまみ、みかげ、芹が谷、kuya、mu\_min、谷月、かれんか、たーた、そらやん、みゆん の皆様

## 「OMAKE no いっぽ」編集委員・投稿募集中!!!

あなたも YA 広報誌「OMAKE no いっぽ」の編集会議に参加してみませんか？

編集に興味のある人、イラスト、まんがを描くのが好きな人、みんなと何かしてみたい人など、大歓迎です。

会議に出られなくても大丈夫。原稿は郵送でも受け付けています。興味のある人は問い合わせしてみてください。

イラスト、ポエム、エッセイ、本や CD の紹介など、何でも OK。企画の持ち込みも受け付けます。投稿の際は、お名前（ペンネーム）も忘れずに。

なお、紙面の構成によってサイズを縮小して掲載することがあります。

本誌への、ご意見やご感想もお待ちしております。

全ての申込み・投稿・問合せは、下記八雲中央図書館 YA サービス担当までどうぞ。

平成30年度に発行する号の編集会議等の予定（毎月第3土曜日を予定しています）

日時

会議内容／発行号		95号	96号	97号
第1回	特集等の内容と担当決め	4月21日	8月18日	12月15日
第2回	文字原稿締切・校正	5月19日	9月15日	1月19日
第3回	すべての原稿の締切	6月16日	10月20日	2月16日
第4回	折り作業、発行・配付	7月21日	11月17日	3月16日

場所 八雲中央図書館内の会議室で行います。

（めぐろ区民キャンパス、地下1階の図書館に入り、YAコーナーの奥の部屋です。）

事前予約不要です。直接会場に来て、編集会議にご参加ください。

お待ちしております。

お問合せ・お申込み・ご意見・ご感想は、

八雲中央図書館YA（ヤングアダルト）サービス担当まで。

目黒区立図書館YA広報誌「OMAKE no いっぽ」第95号

2018年7月発行

編集：「OMAKE no いっぽ」編集委員会

発行：目黒区立図書館

目黒区立八雲中央図書館 YA(ヤングアダルト)サービス担当

〒152-0023 目黒区八雲1-1-1 Tel.(5701)2795

# 編集 後記

あおです。

大学(あ、年心...)が「うっすま」とひたひた  
本よんでいます。

夏休み、ほほと丸...

が、かみぼけ!



ゼンワ になりました。

↑  
↓  
↑  
↓  
↑  
↓

息

不160

どうしよう。体にもバグってきた。

よく寝たら、アレキモバグじゃ!

K-tn with ゼンワ(3) and バンリ!



チョコ  
はアイス  
という  
アイスが  
一番うまい!

あま

シンがホル  
行てきました。

日本の夏より  
暑いかも...!



(24)

ひさしぶりに

「アトたび」いってきます。

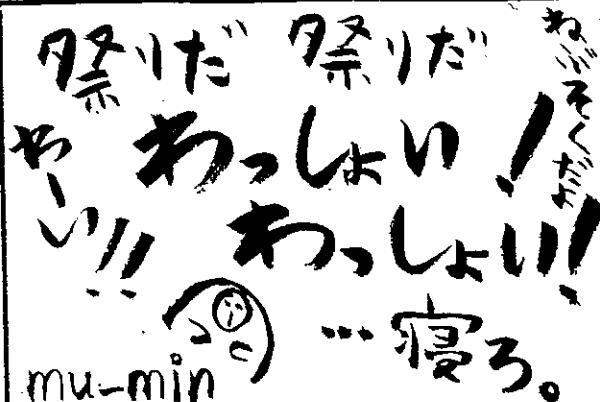
y.serigaya

最近ほ

70ラレールは"かり  
やっています。

やれば"やるほど  
110-ツがたりない...

kuya

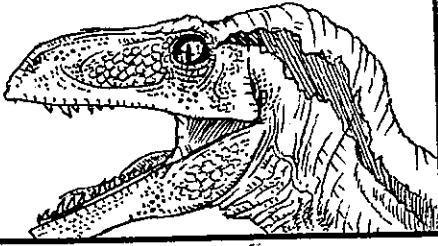


mu-min

...寝る。

今年はジュラシックワールド、フォールディングゲーム  
&

ジュラシックパーク 25周年!!



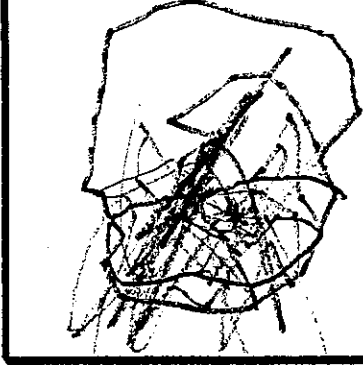
✦ 遠い所からコンニチワ  
が来んかです。

✦ お祭り行きたいです。

✦ 夏祭りiiiiですよね。  
おたがしとか、  
チョコバナナ食べたいです。



た-た




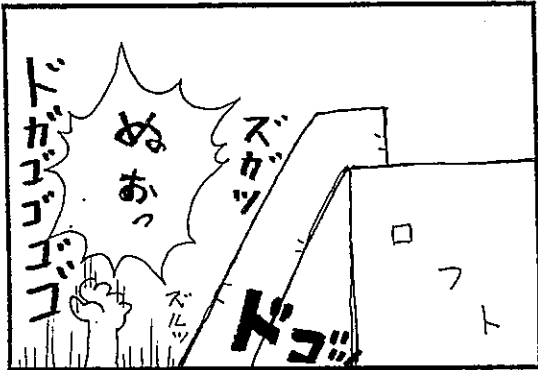
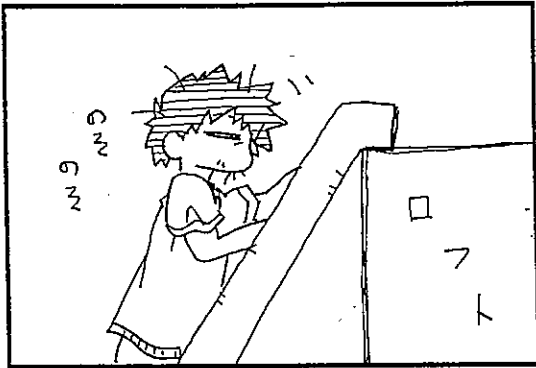
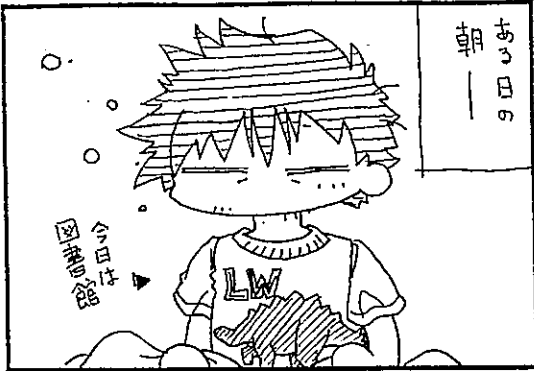
そらん



ある日の

OMAKE

オマケ 



HIME